

シンガポール・ミャンマー・インド間海底ケーブルの建設開始について

株式会社 海外通信・放送・郵便事業支援機構（以下「JICT」）（東京都千代田区、代表取締役社長：福田良之）が、NTT国際通信株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：飯田 健一郎氏）およびWEN Capital Pte. Ltd.（シンガポール、Director：Lim Soon Foo）と出資する合弁会社Orient Link Pte. Ltd.（シンガポール、CEO:佐藤 吉雄）*は、シンガポール・ミャンマー・インド間光海底ケーブルの建設を2019年12月から開始いたします。

当該地域において、目覚ましい経済成長やスマートフォンの急速な普及により、国際通信トラフィックは増大しており、グローバルなデータセンター間の通信需要も高まりを見せています。

こうした旺盛な需要を背景に、グローバルに光海底ケーブル事業を展開するNTTグループが、JICTの支援を受け、当該地域における光海底ケーブル建設を進めることで、光海底ケーブルインフラ事業分野全般における我が国の国際競争力が一層強化されるものと期待されます。

JICTは引き続き、さまざまな案件を通じて日本の事業者の方々の通信・放送・郵便分野における海外事業展開を支援してまいります。

* 合弁会社の設立に関するプレスリリース（10月10日）参照。

http://www.jictfund.co.jp/wp/wp-content/uploads/2019/10/20191010_press.pdf

【海底ケーブルの概要】

- 1 名称：MIST
- 2 設計容量：最大240Tbps/12FP（拡張可能性含む）
- 3 総延長距離：約11,000Km（拡張可能性含む）
- 4 当初陸揚げ予定地：シンガポール、ミャンマー、インド（ムンバイ、チェンナイ）
- 5 総投資計画額：約400百万米ドル
- 6 運用開始予定：2022年6月

※ケーブルの敷設予定ルートは次ページのとおりです。



(問い合わせ先) 株式会社 海外通信・放送・郵便事業支援機構 総務企画部
TEL : 03-5501-0092
FAX : 03-3593-6770